

令和6年6月5日

保護者 様

倉敷市立連島東小学校  
校長 重松 啓 司

## 登下校時の雷等への対応について(お願い)

平素より、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、ここ数年において、突然の雷や突風、激しい降雨等、気象の変動が大きく、子どもたちの登下校中における落雷等による事故に対して危惧しています。

そこで、登下校時の落雷等への対応を次のようにしますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 記

#### 1 「落雷の心配がある場合」とは…

- ① 倉敷市に「雷注意報」が発表されており、かつ、
  - ② 黒雲、突風や気温の低下、激しい降雨があり、雷鳴が認められる場合
- とします。

#### 2 その場合の登校は…

- ・ 原則として各ご家庭の判断で、待機をお願いします。
- ・ 待機により登校が午前8時30分を過ぎそうなときは、学校まで連絡をしてください。
- ・ 安全第一の対応ですので、登校が遅れても遅刻扱いとはしません。
- ・ 保護者連絡帳で対応について学校より連絡があった場合は、その指示に従ってください。

#### 3 下校時間帯の対応は…

- ・ 気象状況を確認した上で、判断します。学校内で待機させる場合保護者連絡帳で連絡します。
- ・ 雷や突風、激しい降雨等が続く場合は、引き渡しを行う場合もあります。その際も保護者連絡帳で連絡します。

#### 4 その他

- ・ 在校時間中に「落雷の心配がある場合」は、ただちに屋外での活動を中止し、屋内に避難します。
- ・ 学校から離れて活動する場合、「落雷の心配がある場合」は屋外での活動を中止して屋内の活動に切り替えます。

※ 台風時を含め、上記のような気象に対応する緊急連絡が学校より発せられる可能性が高い状況の日は、保護者連絡帳の確認(または電話に出られる態勢)をお願いします。

裏面に落雷事故防止に関する資料を掲載しましたので、ご参照ください。

## 資料

落雷による事故は、生命に危機を及ぼす重大な事故になりやすいが、適切な判断により事故を防ぐことが可能であることから、屋外での活動中において、天候が急変しそうな予兆がある場合には、気象に関する情報を収集するとともに、早めに中断し避難等の対応を行うことが重要となります。

### 〈予想される状況〉

- ① 「雷注意報」の発表。② 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ③ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。④ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ⑤ 大粒の雨や雹(ひょう)が降り出す。⑥ 近くに雷が落ちる。

### 〈対応〉

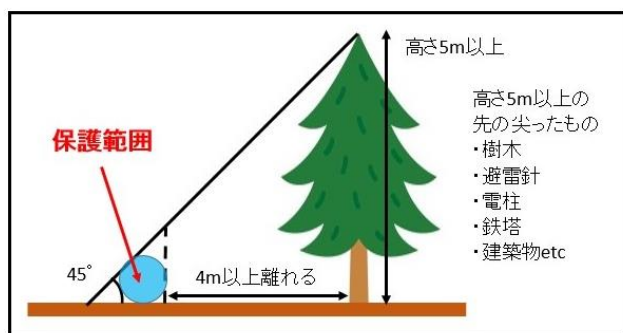
- ① 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は速やかに屋内に避難させる。  
＜雷鳴が遠くても、雷雲はすぐ近づいてくる。また、雨が降っていなくても落雷はある。＞
- ② 校庭やプールでの活動、平地でのハイキング等、近くに高いものがない場所での活動の場合は特に注意し、速やかに活動を中止し、屋内に避難させる。
- ③ 雷の活動は短時間でおさまることが多いので、無理に登下校、帰宅等をせず、屋内に避難・待機する。
- ④ 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に移動する。

### 〈避難場所等に関する留意点〉

- ① 建物の中、自動車、バス、列車の中等への素早い避難が求められる。
- ③ 軒先や外壁は、雷の通り道になること等に注意する。
- ④ 雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので、立ち木から離れたところに避難する。
- ⑤ 近くに避難する場所がない場合は、しゃがみこむ等でできるだけ姿勢を低くする。

＜群馬県教育委員会事務局作成 災害対応マニュアル参照＞

### ※【安全な空間に避難できない場合の対応】



高さ5m以上の先の尖ったものの先端から45°以内、かつ当該の高いものから4m以上離れた場所です。狭い範囲ではありますが、この場所が落雷を回避する上で最も有効な場所です。

雷は高いところに落ちやすいという性質を利用でき、かつ上記の側撃雷を避けることができる場所になります。

近くに安全な空間がない場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ(保護範囲)に避難します。

高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。[気象庁ホームページより]

### 〈雷の活動が止んだら…〉

- ① 雷鳴が止んでから20分程度は落雷の危険があることから、安全な場所で待機する。
- ② 一つの雷雲が去っても、次の雷雲が近づく場合もあるので、新しい雷雲の接近に常に注意する。
- ③ その後は気象情報等で安全を確認の上、活動を再開するかどうかの判断をする。